

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 3月 29日

事業所名 放課後等デイサービス フルール

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	✓			
	2	職員の配置数は適切である	✓		定められた人員配置(加配)に加え、当日の利用人数や子どもの特性を鑑みスタッフを配置しています。送迎時の人数や、同性のスタッフ配置などにも配慮しています。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	✓		フルフラット化に加え、床材をクッション性のあるものに取りかえています。	結果を踏まえ、周知が十分でなかったと感じます。再周知するとともに契約時の説明を丁寧に行います。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	✓		ミーティング時やスタッフへのフィードバック時にPDCAサイクルを意識できるような指示をおこないます。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	✓		ご意見や結果を踏まえ、再周知や改善が必要な内容を検討し対応していきます。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	✓		HPIに掲載後、会報にて周知しております。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		✓		今後計画の必要があります。
適切な 支援の 提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	✓		定期的に全員参加のミーティングを行います。外部研修のフィードバックも行います。	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	✓		客観的な分析と、保護者からの聞き取りをもとに作成しています。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	✓			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	✓		固定化がないよう、複数のチームで立案します。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	✓		季節を感じる行事や、子どもたちのニーズ、特性をふまえて毎月活動プログラムを検討します。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	✓		利用時間や、個々の課題をもとに設定し支援します。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	✓			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	✓		ミーティングや紙面にて毎日全スタッフが確認しています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	✓			
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	✓			
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	✓			
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	✓				

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	✓		児童発達支援管理責任者が参加し、必要があれば他スタッフもプラスで参加します。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	✓		保護者や担任の先生などと連絡を取り合いながら対応しています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		✓		現在該当の方はいませんが、必要がある場合にはこちらから積極的に提供してまいります。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	✓		利用が決まった時点で情報共有を行っています。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	✓			
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	✓			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	✓			コロナ禍以降実施しておりませんが、以前は市内女子高校との交流、他事業所と合同での音楽レッスンを行ってまいりました。交流を求めないという保護者様もいらっしゃるため、実施や再開時期なども含めて今後検討します。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		✓		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	✓		連絡帳、送迎時の報告、必要な場合は面談や電話連絡にて共通理解を持てるよう努めています。	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	✓		ご希望の場合、こちらが必須と判断する場合は随時行います。		
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	✓		契約の際に、管理者よりもれなく説明を行います。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	✓		傾聴と受容を心がけ、寄り添った支援を心がけています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		✓		通所されている保護者より、毎年保護者同士の交流や保護者会の実施は求めませんとお声をいただいています。当面は個別の対応をとらせていただき、ご希望が出た場合には実施を検討します。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	✓		契約時に説明を必須としています。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	✓		概ね2か月に一度会報を発行し、活動内容や必要事項の周知を行います。また、様子がよくわかるよう、活動写真(ほかの方が写っていないもの)も配布します。	
	35	個人情報に十分注意している	✓			契約されている方には個人情報使用同意書をいただき、必要範囲のみで使用します。スタッフへは個人情報の秘密保持に関する誓約書について、内容を確認の上契約を行います。活動写真も映り込みが無いよう個人写真のみとし、撮影者は固定スタッフ一人名のみとし、現像後は削除しています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	✓			
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		✓		個人情報の観点から希望されないとの意見があるため積極的に参加しておりませんが、外部講師との交流やお買い物支援や戸外活動等で近隣の方との交流を行います。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	✓			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	✓		防災センターにて災害訓練、事業所にて地震・火事・水害・不審者対策等の避難訓練を行います。また持ち出し用具の点検等も活動内容に組み込んでいます。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	✓		マニュアルに沿ってミーティングを定期的実施しています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		✓		自傷・他傷に繋がる可能性がある場合は制止することがある旨、マニュアルを用いて保護者へも周知しております。サービス計画への記載は行っていないため、必要がある場合は記載していきます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	✓			
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	✓			